

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、退職給付債務を簡便法（退職給付に係る期末自己都合要支給額の100%を退職給付債務とする方法）により計上しております。
- ・賞与引当金……職員の賞与の支払いに備えて、賞与支払見込額の当事業年度負担額を計上しております。
- ・貸倒引当金……給食費未収金の貸倒損失に備えるため、過去3年間の貸倒実績率から算出した回収不能見込額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更……該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	4,600,000	0	0	4,600,000
小 計	4,600,000	0	0	4,600,000
特定資産				
退職給付引当資産	2,506,600	507,050	0	3,013,650
小 計	2,506,600	507,050	0	3,013,650
合 計	7,106,600	507,050	0	7,613,650

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	4,600,000	3,000,000	1,600,000	0
小 計	4,600,000	3,000,000	1,600,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	3,013,650	0	0	3,013,650
小 計	3,013,650	0	0	3,013,650
合 計	7,613,650	3,000,000	1,600,000	3,013,650

5. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	3,973,556	2,747,558	0	3,973,556	2,747,558
賞与引当金	372,995	378,290	372,995		378,290
退職給付引当金	2,506,600	507,050	0		3,013,650

6. 担保に供している資産……該当事項なし

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 運営補助金	東大阪市	0	13,495,000	13,495,000	0
合 計			13,495,000	13,495,000	0

8. 重要な後発事象……該当事項なし

9. その他……該当事項なし